教育委員会を点検・評価

『平成２３年度香美市教育委員会施策に関する点検・評価報告書』の要旨についてお知らせします。

香美市教育委員会は、**平成23年度の教育行政方針**を基に、心豊かな人づくり、人権尊重を核としたまちづくりを推進し、市民が国際化・情報化・高齢化等の社会の変化に対応できる能力を身につけ、心身ともに健康で調和のとれた人間形成を自ら成し遂げ、自己実現が図れるように生涯学習の観点から努力することを目標としています。

そのための条件を整備し、『学びをたのしむ人々が育つ風土づくり』に努めるなど、時代に即した教育の確立を目指して実施した取り組みについて、自己点検・評価を行いました。

点検・評価の構成

点検・評価は、①教育委員会の活動②教育委員会が管理・執行する事務③管理・執行を教育長に委任する事務の３つの大項目を基本として、中項目、小項目に細分化し、項目ごとに点検・評価を行い、**点検・評価一覧表**を作成しました。

点検・評価の３つの柱

1. 教育委員会の活動
2. 教育委員会が管理・執行する事務
3. 管理・執行を教育長に委任する事務

評価の判断基準

点検・評価一覧表中の評価の判断基準は下の表のとおりです。

評価の判断基準

評価	判断基準
5	想定を大きく上回る成果が得られた。
4	想定以上に成果が得られた。
3	想定どおりの成果が得られた。
2	成果が得られたが、改善の必要がある。
1	成果が得られず、見直しの必要がある。

平成23年度　点検・評価一覧表（一部抜粋）

大項目	教育委員会の活動	教育委員会が管理・執行する事務	管理・執行を 教育長に委任する事務			
中項目	教育委員の会議	重要な工事の計画および執行に関すること	学校教育	就学前教育	生涯学習	
小項目	開催の状況	重要な工事の計画および執行に関すること	保・幼・小・中の連携の推進	子育て支援センター	文化・芸術の振興	吉井勇記念館
取り組んだ内容	教育関係機関の人事や、児童生徒の区域外通学・就学援助・奨学金支給の決定など、市の教育行政に関する重要な案件について教育委員会を開催し、審議しました。定例会１３回・臨時会３回。	小中学校の耐震改修工事やプール水槽漏水改修などの修繕工事のほか、転落防止手すりの設置や空調機設置工事、バリアフリー改修などの工事を行いました。	就学前教育と学校教育をつなぐ保小連携教育として、舟入小学校となかよし保育園の交流学習を行いました。 また、香美市保育・幼・小・中合同研修会の中で、美良布保育園・大宮小学校・山田高校が特別支援というテーマで実践発表を行いました。	出産育児に対する不安の軽減を目指した実技・講話などを行うマタニティママの集いをスタートし、日常生活の過ごし方や赤ちゃんのお世話の実技、お産の進み方などについて情報提供を行いました。	市民の芸術文化の発表の場となる香美市芸術祭を開催し、絵画・手工芸・生け花等が展示される文化展は、目標入場者数９００人を上回り、多くの方に鑑賞していただけました。	吉井勇を顕彰し、短歌の普及と、文学への関心を高めてもらおうと毎年短歌大会を行っています。今回は小中学校の協力の下、学生の部の投稿数が増え、投稿者数８８４人、投稿数１，４６３首となりました。 また、積極的なＰＲ活動により、マスコミに取り上げられました。
評価	自己評価 3　委員評価 3	自己評価 4　委員評価 4	自己評価 3　委員評価 3	自己評価 3　委員評価 3	自己評価 3　委員評価 4	自己評価 4　委員評価 4

点検・評価委員 意見・提言（要約）

評価内容の客観性確保のため、点検・評価委員から、今後の教育行政の推進について、意見・提言をいただきました。

今回は、評価者と教育委員会担当者での学校教育現場検証による事実確認とデータ検証を総括的に評価した。教育委員会が継続すべき課題については、若干の遅れが生じているものの、教育現場から信頼を得て諸活動に取り組んでいる姿勢を高く評価したい。

また、評価方法として、学力面や政策実行の度合いを数値化した点は評価できる。次年度以降は、改善点がより明確となる記述方式が採用されることを期待したい。

項目別に見ると、１．**教育委員会の活動**については、学校現場と信頼関係を築きながら堅実に委員会活動が実施され、特に研修計画等の実行に関しては評価できる。

２．**教育委員会が管理・執行する事務**については、堅実かつ的確に実施され、昨年度に引き続き、学校規模の再検討、耐震工事計画等の執行に関して今年度も高く評価できる。教育振興計画の策定に取り組む姿勢は評価できるが、中長期で各学校や各地区の教育目標の設定という課題については、スピードを上げるべきであった。なお、人事に関する課題には積極的に取り組んでおり、過去３年に比べ格段に進展していると評価できる。

３．**管理・執行を教育長に委任する事務**については、昨年度と同様に香美市の地域性を生かして教育内容や実践を支援するような取り組みや、学習指導、教員研修、また問題を抱えた生徒に対するカウンセリングマインドの実践活動等、過去３年間に比べ一層充実している様子が見られ高く評価できる。

また、就学前教育と小学校の連携に関しては、新規のプログラムやカリキュラム策定の取り組みに期待が持てる。課題となっていた大規模中学校の支援も改善されている。

生涯学習活動については、例年どおり多彩な取り組みが着実に定着しており、美術館のように新規の展示活動を開催していることは、高く評価できる。しかし、管轄諸機関の連携や、高知工科大学を含めて、市が所有する教育資源や人材を効果的に運用する教育計画を立案する余地は、依然として広く残されている。今後、市の教育行政と大学の協力の下、より高度な連携基本計画の具体化が求められる。

点検・評価委員
高知工科大学教職課程教授　**中村直人**

点検・評価報告書の詳細は、香美市ホームページに掲載しています。